



# 自衛隊栃木地方協力本部

## ～「決意新たに」輝く未来への門出にエール～ 令和5年度栃木県自衛隊入隊・入校予定者激励会



栃木地本長祝辞



先輩隊員の激励



決意表明をする入隊入校予定者



記念品贈呈の様子



12音楽隊の祝賀演奏



栃木県出身漫才コンビ「U字工事」による激励メッセージ  
「会場に行けなくてゴメンネゴメンネ」で締めくくられた。

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、3月9日（土）、宇都宮短期大学付属高等学校大ホールにおいて、栃木県の自衛隊協力5団体（県防衛協会、県隊友会、県自衛隊家族会、県自衛隊雇用促進協議会、県自衛官募集相談員連絡会）との共催による「令和5年度栃木県自衛隊入隊・入校予定者激励会」を開催した。

当日は入隊・入校予定者とそのご家族211名、来賓36名が出席し、激励式典と祝賀演奏会の二部構成で行われた。

式典では主催者代表の栃木県防衛協会会長（青木 勲氏）のご挨拶に続き、栃木県知事（福田 富一氏）から祝辞を頂いたのち、防衛大臣と栃木県出身漫才コンビ「U字工事」による激励メッセージが大型スクリーンで放映された。入隊・入校予定者は来賓や防衛大臣の祝辞・激励を緊張の面持ちで傾聴していたが、有名漫才コンビからのスペシャルメッセージでは緊張感が和らいだ様子であった。

次に、栃木県出身者と同県勤務経験者の陸・海・空自衛官3名がステージにあがり、先輩隊員として、陸上自衛隊は第2高射特科群第337高射中隊の清水快音陸士長、海上自衛隊は横須賀教育隊・教育部教官の重春愛3等海曹、航空自衛隊は第2輸送航空隊・整備群整備隊の神山磨衣空士長が、希望と不安が交差する入隊・入校予定者と同じ気持ちだった頃の自分を赤裸々に紹介しつつ今後の活躍を激励した。航空自衛官の神山士長は、今年度、栃木地方協力本部に臨時勤務し県内各地で自衛官募集広報を支援した経験がある隊員で「自衛隊は多くの人に必要とされる素晴らしい職業です。自らの選んだ道を誇りに思い、仲間とともに全力で教育隊の日々を楽しんで、駆け抜けていってください」と結び、熱いエールを送った。

最後に入隊・入校予定者を代表して、防衛大学校へ入校予定の安納雄飛さんと一般曹候補生として入隊予定の柴 凜さんから、これから未知の世界に挑む意気込みと、これまで支えてくれた方々への感謝をこめたい強い決意表明が行われた。

祝賀演奏会では、第12音楽隊（指揮 富田一陸尉）による祝賀演奏が開催され、演奏会は冒頭のトランペットによるファンファーレからはじまる「軽騎兵」序曲からスタート。軽快なリズムと勇壮な旋律は会場の人々を魅了した。その他に「残酷な天使のテーゼ」「水平線」「ティズニードレ」などの名曲も披露され、入隊・入校予定者は音楽隊の奏でるメロディーや歌のエールに自身の気持ちを重ねながら約1時間間の演奏を鑑賞し、大盛況のうちに終了となった。

栃木地本は「今後も、協力団体と連携しながら、入隊する方々が安心できるようフォローしていくとともに、防衛を担う将来の自衛官とその家族を支える地域との交流事業にも繋げていく」としている。